

漫画「カナクリ」の制作に参加している崇城大生ら。後列左から2人目が漫画家の岩田紘典さん＝熊本市西区



連載漫画 完走するぞ！

カナクリ KANAKURI

本紙掲載

日本初のオリンピックピック選手で、マラソン競技に出場した金栗四三（和水町出身）の生涯を描く熊日の連載漫画「KANAKURI（カナクリ）」の制作に、崇城大（熊本市西区）の学生チームが携わっている。実際の漫画制作に携わる貴重な経験に、学生らは「力を付けながら地元の漫画を盛り上げたい」と意欲を燃やしている。

チームは、同大芸術学部デザイン学科で学ぶ学生7人でつくるKSプロ。非常勤講師でカナクリの作画を担当する漫画家、岩田紘典さんの指導

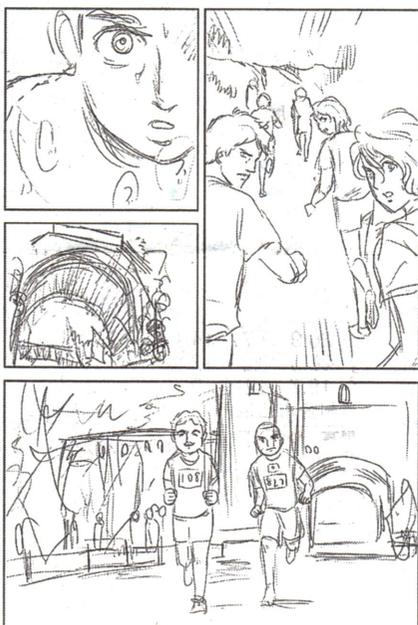
崇城大生チーム制作をサポート

のもと、シナリオ作りや下絵描きなどプロの仕事の進め方を学んでいる。

メンバーは、3年生の濱武茅乃さん、西村若奈さん、兵頭萌咲さん、副島正裕さん、馬場口紘行さん、藤井美沙希さん、2年生の松永夏実さん。将来、編集者や漫画家、映像作家などを目指す意欲的な学生ばかりだ。

漫画制作では、それぞれの得意分野に分かれて、シナリオ構成や人物デザイン、ペン入れ、塗りを担当。最終的に岩田さんが手を入れて仕上げているが、「みなレベルが高く、アイデアも豊富。私の方が刺

左は「カナクリ」第2話の下絵。学生チームが背景の人物デザインやペン入れ、塗りを分担しながら完成に近づけていく。右が完成した漫画



激を受けている」と岩田さん。連載に欠かせない戦力として成長著しいという。

「キャラに魅力あるせりふを言わせたい」「描いたポーズが採用されてびっくり」新聞に載った漫画を見て感動し

「絵の経験を将来の夢につなげたい」と話している。

漫画は毎週土曜朝刊掲載。（松本敦）